

いろいろな ながらスマホ👉

1. 提案のきっかけ

(1) 私たちの体験と、調べて分かったこと

外にいるときに歩きスマホをしている人と他の人がぶつかりそうになっている光景を見たことはないだろうか。僕たちのグループでは、この光景を見たことがあるという人がいた。そもそも「歩きスマホ」とは、歩きながらスマートフォンを操作することだ。東京消防庁の調査によると、歩きスマホをしていて起きる事故で一番多いのが転ぶことだと分かった。「歩きスマホ」をすると注意力が失われるということが原因らしい。東京都交通局によると「歩きスマホ」をしないようにポスターなどで呼びかけていることが分かった。

(2) 解決したい課題

「歩きスマホ」をしていて、もし、周りの人と事故が起こってしまったら、自分も相手も嫌な気持ちになってしまう。スマートフォンは、広い世代で使われているので、この課題を解決する方法を提案したい。

2, 提案

いろいろなところに持ち運べて、様々な機能があるスマートフォンだからこそ、使う場所を考えずに使い、大変な事態になる。なぜなら、スマートフォンに集中しすぎると集中力が失われ大きな事故につながることもあるからだ。具体的には、大きな事故につながったりしないように意識することを提案する。

(1)

スマートフォンは、歩きながら使わない。使うときは、ベンチや、お店の中などで迷惑のかからないように使う。

(2)

ながらスマホはしない。運転中や自転車に乗っているときなど何かをしながらスマホを見る時は、一度どこかで止まってからにする。

このことを意識すると他人の迷惑や事故などになることなく、快適に過ごすことができるのだ。そして一人一人がこのことを心がけるともう少し良い暮らしが期待できるだろう。

3. まとめ

このように歩きスマホをはじめとしたながらスマホは、事故につながる大変危険な行為であるためすぐに止めたほうがいい。なぜなら集中力が、歩くことではなくスマホに向いてしまうのだから。だから、スマホは、ベンチに座ったり、立ち止まってやったほうが自分も他人も安全でいい。僕たちはスマホはとても便利だと思う。だからこそ周りに気を配ってほしいといけない。

参考

[東京消防庁ホームページ](#)

[東京都交通局ホームページ](#)